

あいであ & アイデア

サシバエ予防にメッシュを牛舎全面に張り付け、効果絶大

社団法人 岐阜県畜産協会 原 健 治

はじめに

岐阜県高山市で経産牛50頭を飼養する酪農家嶋田さんは牛舎全面に細かいメッシュを張り、カウコンフォートに効果をあげていますので紹介します。

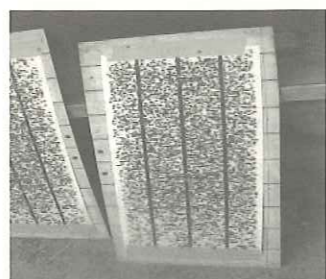
嶋田さんは、一度、料理人の世界に飛び込んだ後、酪農経営を引き継いだ異例の後継者で、就業後ちょうど10年が過ぎました。料理人の経験から良質、新鮮な食材（牛乳）を提供したいと考えており、いろいろな面からカウコンフォートを実践しています。

また、サシバエの詳しい情報については、平成22年度畜産大賞地域畜産振興部門で優秀賞となった兵庫県の「The Fly Project」が素晴らしい研究成果を発信していますので、そちらを参考にしてください。（畜産会経営情報 No.254（平成23年1月15日発行）に掲載）。

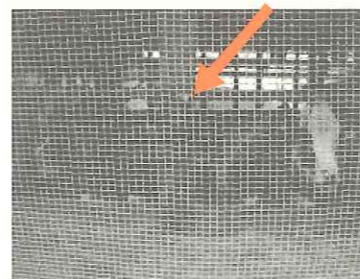
きっかけ

毎年7月から11月末まで、大量に襲ってくるサシバエ。嶋田さんは「何とかしないと」と頭を悩ませていました。日ごろから牛に良いと思われることは、分娩舎の新築から牛舎内では飼槽の改修、馬栓棒の改造、ウォーターカップの増設、扇風機の配置換えなどいろいろ試し、効果をあげてきたのですが、サシバエだけは定期的に脱皮阻害剤を散布するくらいで、その対策に苦慮してきました。

平成19年の春ごろ青年部の同世代の仲間から「メッシュが有効みたいだぞ!!」「育成舎に張ったら、効果があった」と聞いて、早速メッシュの全面張りを実施しました。



ハエ取り紙に黒々とサシバエ



メッシュに止まっているサシバエ

材料および製作方法

材料 ①メッシュ（3mm×4mmまたは2mm×2mm 中国産）1巻（幅2m×長さ50m）3950円（ホームセンター等で販売している）

嶋田さんの牛舎では、乾乳舎とあわせて4巻で完成。

②メッシュを止めるビス（大型ホッチキスでもOK）。

方法 ①上の写真のように、メッシュを牛舎の窓、壁の隙間など全面にビス止め。

②入口は出入りができるようにカーテンレールを備え付け、カーテン仕様に加工（2m幅を縫って、4m幅にした）。

③年間を通じてメッシュを張っているが、サシバエ発生時のみでも効果がある。

④年に数回メッシュのほこりを落とすためにプラスチックほうきで両面から掃除する。



牛舎の様子(青いメッシュとハエ取紙)



入口のカーテン仕様

効果

サシバエによる悪影響は、搾乳中に落ち着きがない、ミルクをけり落とすなどですが、最大のストレスは牛が横臥せず、ずっと立ったままです。サシバエが原因で採食量の減少、泌乳量の低下等の生産性に影響があると考えられています。メッシュを全面に張り巡らしたことにより、サシバエの畜舎への侵入がなくなり、牛はゆっくり餌を食べ、横臥するようになりました。横臥時間が1時間/日増えると乳量も1kg増加するといわれており、嶋田さんは「簡単に張れるメッシュでこんなに効果があるとは」と驚いていました。

また、メッシュを張ることで人の牛舎への出入りやカラスやハトなどの野鳥の侵入を防ぐこともでき、かつ近所からも「ハエが減った」といわれるようになりました。

嶋田さんの経営には、岐阜県畜産協会において継続して経営診断を実施していますので、診断結果をもとにメッシュを張る前と張ってからの繁殖成績等を比較してみました（表）。

このように乳量も増加し、繁殖成績も向上しています。嶋田さんはつねづね牛が働ける環境づくりに努めていますので、すべてがメッシュを張ったことによる効果とはいえませんが、試してみる価値は十分あると思います。

嶋田さん曰く「今回のメッシュだけでなく、いかに牛のいる環境を良くし、牛に気持ち良く働いてもらうことが大切である」とのことです。

項 目	平成18年	平成19年
I 繁殖成績 平均種付け回数	3.3回	2.1回
平均産次数	2.2産	2.4産
平均分娩間隔	14.7ヵ月	13.4ヵ月
II 産乳成績 経産牛1頭当たり産乳量	8,898kg	10,233kg
III 飼料給与 経産牛1頭当たり年間濃厚飼料給与量	3,292kg	4,035kg
経産牛1頭当たり年間粗飼料給与量	4,490kg	5,324kg



ゆったり横臥する牛



分娩舎のメッシュ

あいであ & アイデア